

2017年度第2四半期決算

証券コード：5332

2017. 10. 30

目次

1. 2017年度第2四半期決算

2. トピックス

3. 2017年度修正計画

2017年度第2四半期決算概要

ハイライト

**増収増益。売上高、営業利益、経常利益は過去最高。
計画を上回り、順調な進捗。**

グローバル住設事業（日本）：増収、利益横ばい

- ◆リモデルは増収増益。新築は減収減益
- ◆8月発売の新商品の出足好調

グローバル住設事業（海外）：増収増益

- ◆好調な中国事業が牽引
- ◆中国・米州は増収増益

新領域事業：増収増益

- ◆セラミック事業は引き続き需要が強く、大幅増収増益

2017年度第2四半期決算

P/L概要

単位：億円

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響		当初計画	計画差
				為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	2,711	2,813	+102 (+4%)	▲11	+113 (+4%)	2,807	+6
営業利益 [営業利益率]	205 [7.6%]	224 [8.0%]	+19 (+10%)	▲3	+22 (+11%)	205 [7.3%]	+19
経常利益	194	239	+45 (+23%)	+13	+32 (+16%)	213	+26
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	131	150	+19 (+15%)	+13	+6 (+5%)	133	+17

■為替レート

	2016年度		2017年度		2017年度 当初計画
	1Q	2Q	1Q	2Q	
1ドル	115.4円	108.0円	113.6円	111.1円	105.0円
1元	17.6円	16.5円	16.6円	16.2円	16.0円
1ユーロ	127.2円	121.9円	121.1円	122.3円	117.0円

今年度より海外グループ会社損益の為替換算レートを期末日レートから期中平均レートに変更。
当資料の前年度に関する情報は、全て遡及適用後の数値を記載。

2017年度第2四半期決算

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響額		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
住設事業 (日本)	2,005	2,014	+9 (+1%)		+9 (+1%)	2,039	▲25
住設事業 (海外)	606	665	+59 (+10%)	▲11	+70 (+12%)	638	+27
新領域	98	132	+34 (+35%)	+0	+34 (+35%)	128	+4
その他	1	1	+0		+0	1	▲0
合計	2,711	2,813	+102 (+4%)	▲11	+113 (+4%)	2,807	+6

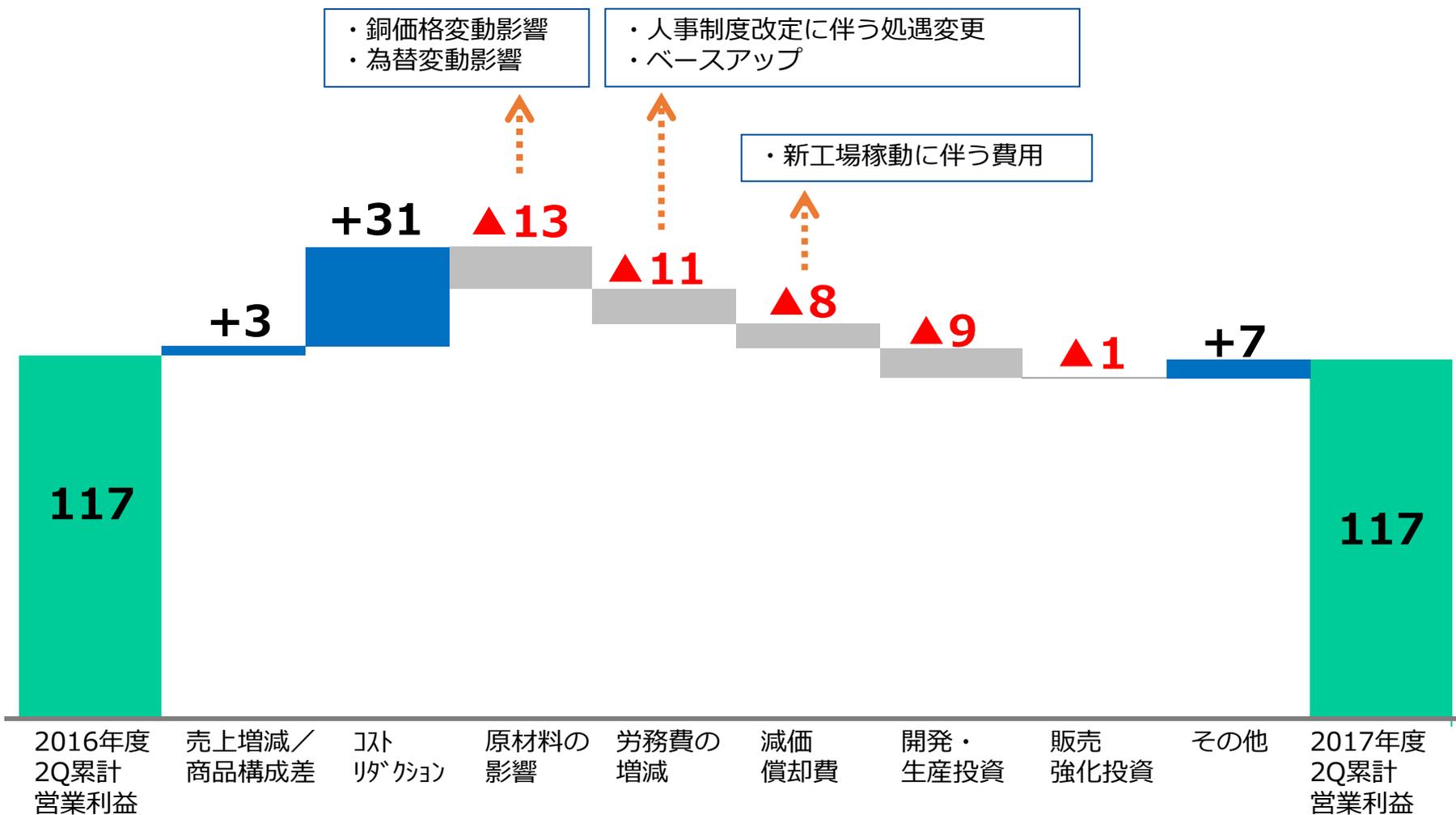
<営業利益>	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響額		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
住設事業 (日本)	117	117	+0 (+0%)		+0 (+0%)	106	+11
住設事業 (海外)	111	120	+9 (+8%)	▲3	+12 (+11%)	117	+3
新領域	▲1	2	+3 (-)	+0	+3 (-)	3	▲1
その他	▲21	▲15	+6		+6	▲21	+6
合計	205	224	+19 (+10%)	▲3	+22 (+11%)	205	+19

2017年度第2四半期決算

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異）

単位：億円



2017年度第2四半期決算

グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差（前年比）	当初計画	計画差
売上高	1,340	1,367	+27（+2%）	1,359	+8
営業利益	93	96	+3（+3%）	84	+12
営業利益率	7%	7%	+0pt	6%	+1pt

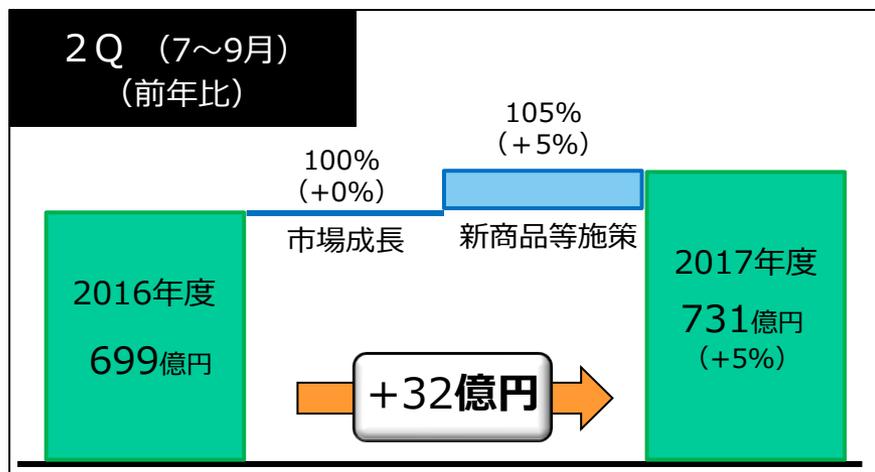
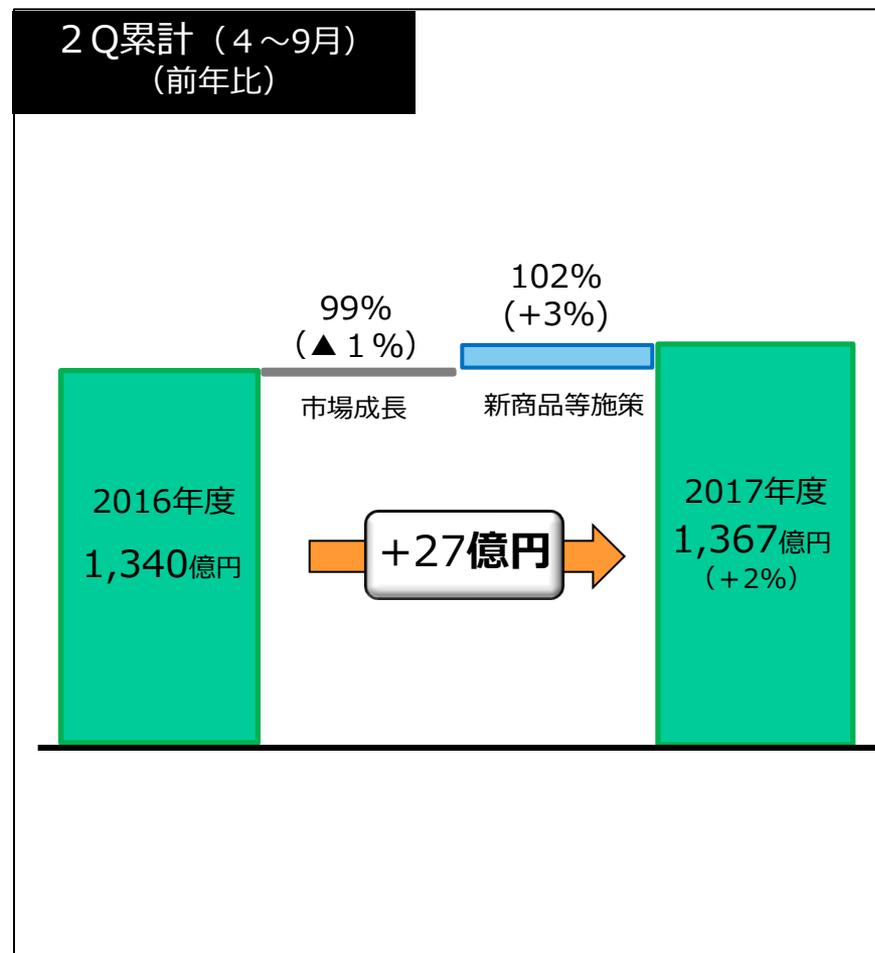
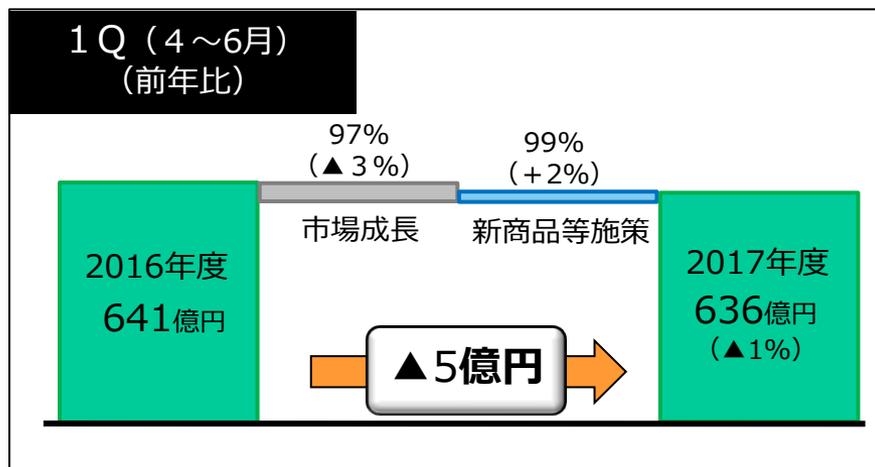
<新築>

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差（前年比）	当初計画	計画差
売上高	664	647	▲17（▲3%）	679	▲32
営業利益	23	21	▲2（▲11%）	21	▲0
営業利益率	4%	3%	▲1pt	3%	+0pt

リモデルは増収増益。当初計画を達成。
新築は減収減益。

2017年度第2四半期決算

グローバル住設事業（日本）：リモデル実績の詳細



市場の回復及び新商品好調により、第2四半期(7~9月)は大きく伸長。

2017年度第2四半期決算

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差 (前年比)	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差 (前年比)
衛生陶器	406	419	+13 (+3%)	36	36	▲0 (▲1%)
ウォシュレット	445	459	+14 (+3%)	57	64	+7 (+12%)
水栓機器	428	424	▲4 (▲1%)	28	23	▲5 (▲18%)
浴室	467	464	▲3 (▲1%)	13	6	▲7 (▲50%)
キッチン・洗面	217	209	▲8 (▲4%)	▲15	▲12	+3 (-)
その他	40	37	▲3 (▲7%)	▲3	▲1	+2 (-)
合計	2,005	2,014	+9 (+1%)	117	117	+0 (+0%)

新商品が牽引し、衛生陶器・ウォシュレットが伸長。

2017年度第2四半期決算

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差(前年比)	為替影響除 前年差(前年比)	2017年度 2Q計画	計画差
中国	297	343	+46(+15%)	+58(+20%)	329	+14
アジア	137	146	+9(+7%)	+8(+6%)	143	+3
米州	149	156	+7(+5%)	+5(+4%)	147	+9
欧州	21	18	▲3(▲15%)	▲2(▲13%)	18	▲0
合計	606	665	+59(+10%)	+70(+12%)	638	+27

営業利益	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差(前年比)	為替影響除 前年差(前年比)	2017年度 2Q計画	計画差
中国	75	84	+9(+13%)	+13(+17%)	81	+3
アジア	29	26	▲3(▲8%)	▲3(▲9%)	25	+1
米州	9	15	+6(+53%)	+5(+51%)	13	+2
欧州	▲3	▲6	▲3(-)	▲3(-)	▲3	▲3
合計	111	120	+9(+8%)	+12(+11%)	117	+3

引き続き好調な中国事業が牽引し、海外全体で増収増益。

2017年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万元

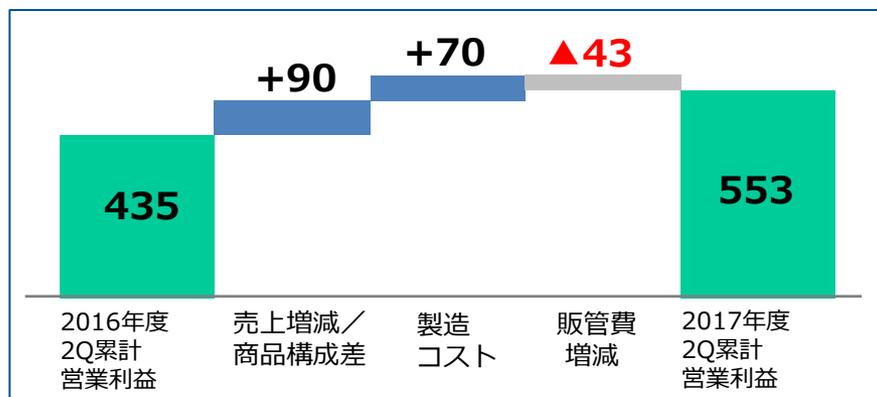
	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差・前年比	当初計画	計画差
売上高	1,741	2,083	+342 (+20%)	2,047	+36
営業利益	435	553	+118	533	+20
営業利益率	25%	27%	+2pt	26%	+1Pt

第3四半期(7月～9月)の売上高伸長率は前年同月比+14%。

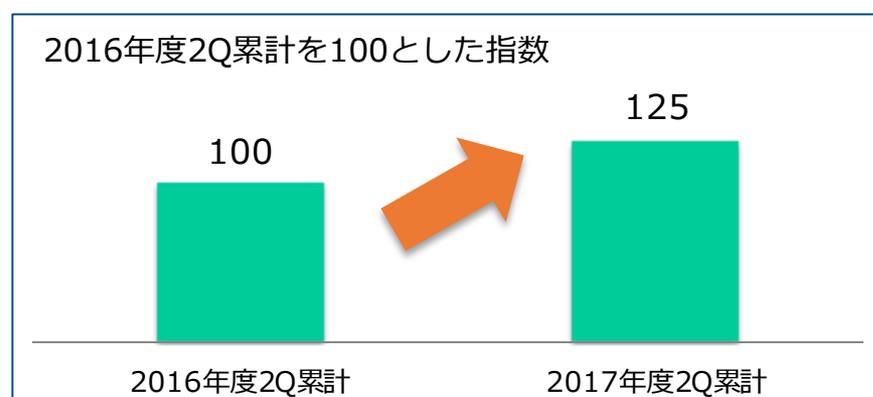
為替レート	2016年度2Q	2017年度2Q	2017年度計画
1元	16.5円	16.2円	16.0円

営業利益の増減要因

単位：百万元



ウォシュレットの販売台数伸長



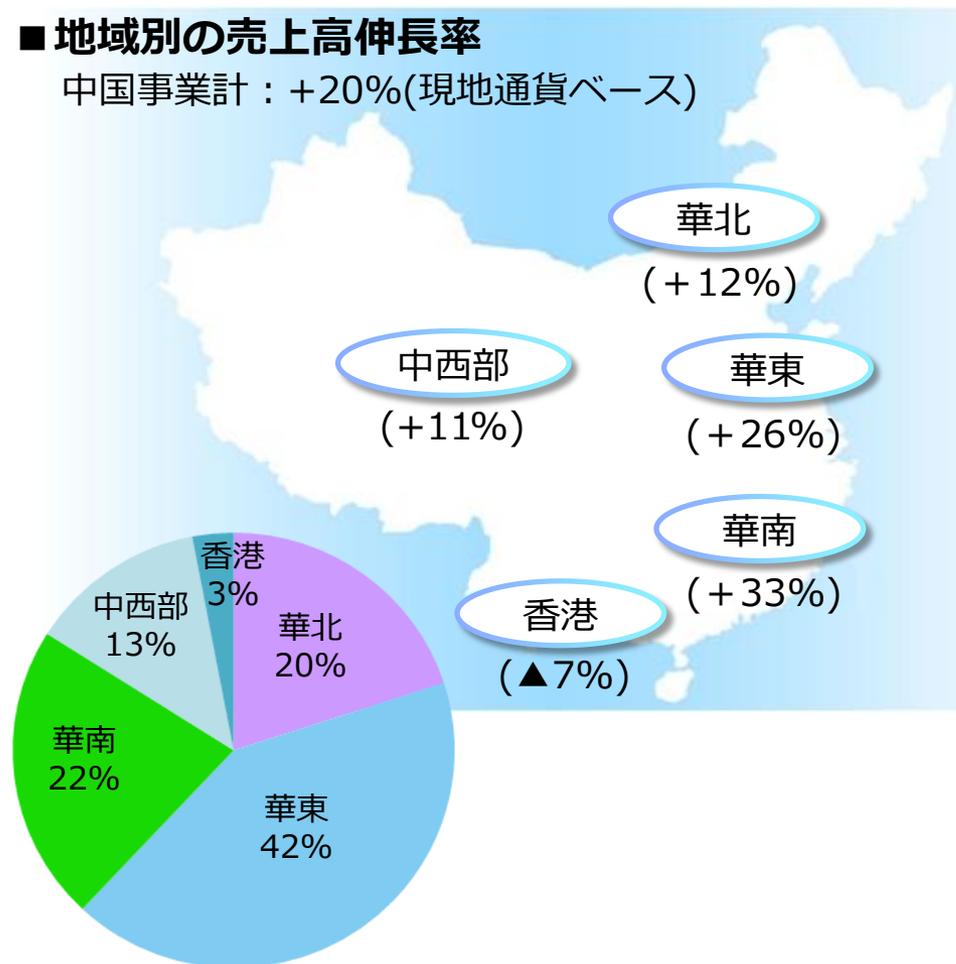
引き続き好調。大幅増収増益。

2017年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）

■ 地域別の売上高伸長率

中国事業計：+20%(現地通貨ベース)

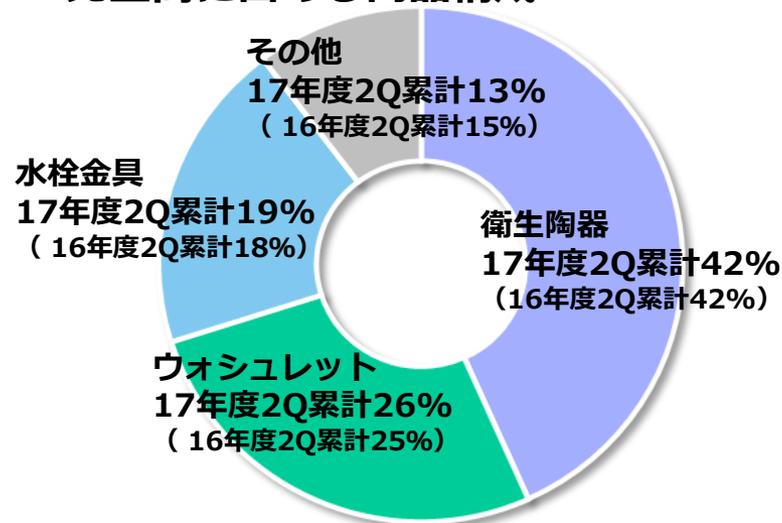


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+21%
ウォシュレット	+23%
水栓金具	+24%

■ 売上高に占める商品構成



香港を除く各地域で伸長。全商品とも好調に推移。

2017年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

売上高
エリア別内訳

台湾 44%	ベトナム 31%	その他 25%
-----------	-------------	------------

台湾

単位：百万台湾ドル

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差 前年比
売上高	1,852	1,784	▲4%
営業利益	471	409	▲62
営業利益率	25%	23%	▲2pt

為替レート	2016年度2Q	2017年度2Q
1台湾ドル	3.33円	3.68円

■ウォシュレット販売台数の伸長

2016年度2Q累計を100とした指数



第3四半期(7月～9月)の売上高伸長率は前年同月比▲11%。

ベトナム

単位：10億ドン

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差 前年比
売上高 (外部顧客売上高)	1,411 (827)	1,494 (929)	+6% (+12%)
営業利益	321	309	▲12
営業利益率	23%	21%	▲2pt

為替レート	2017年度2Q
1ドン	0.00484円

第3四半期(7月～9月)の外部顧客売上高伸長率は前年同月比+30%。

台湾は引き続き市況が厳しく、減収減益。
ベトナムは増収も、新工場立ち上げ費用及び販売投資強化により減益。

2017年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ドル

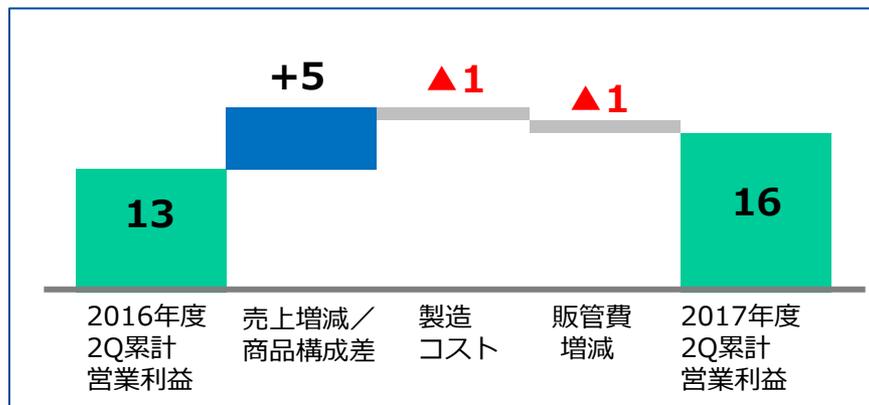
	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差・前年比	当初計画	計画差
売上高	134	139	+5 (+4%)	140	▲1
営業利益	13	16	+3	15	+1
営業利益率	10%	12%	+2pt	11%	+1Pt

第3四半期(7月～9月)の売上高伸長率は前年同月比▲3%。

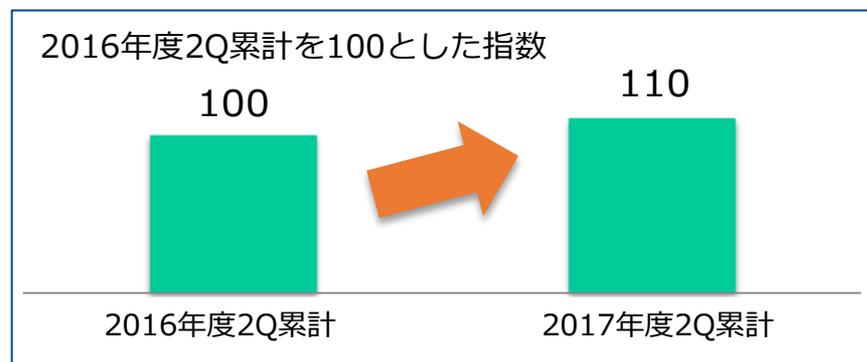
為替レート	2016年度2Q	2017年度2Q	2017年度計画
1ドル	108.0円	111.1円	105.0円

営業利益の増減要因

単位：百万ドル



ウォシュレット：販売台数の伸長



第3四半期(7～9月)のウォシュレット販売台数伸長率は+26%。

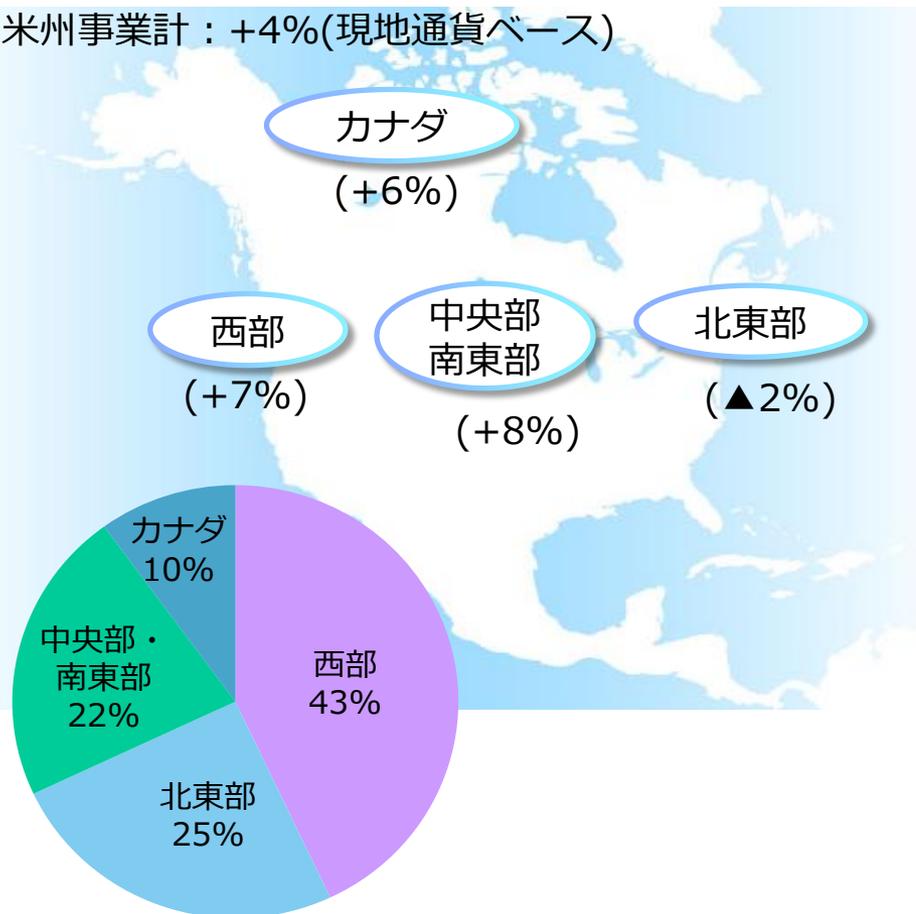
增收増益。営業利益率が向上。

2017年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績（米州）

■ 地域別の売上高伸長率

米州事業計：+4%（現地通貨ベース）

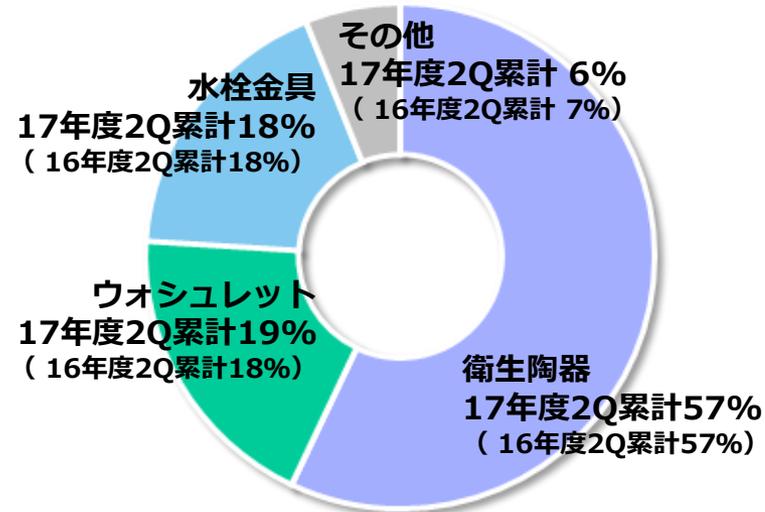


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+5%
ウォシュレット	+11%
水栓金具	▲2%

■ 売上高に占める商品構成



北東部を除く各地域で伸長。商品別では衛生陶器・ウォシュレットが伸長。

2017年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

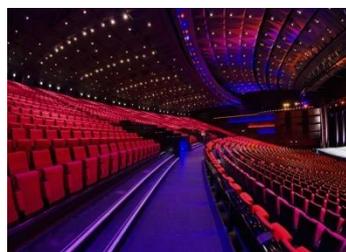
単位：百万ユーロ

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差 (前年比)	当初計画	計画差
売上高	16	14	▲2 (▲13%)	14	▲0
営業利益	▲1	▲4	▲3	▲3	▲1

第3四半期(7月～9月)の売上高伸長率は前年同月比▲7%。

為替レート	2016年度2Q	2017年度2Q	2017年度計画
1ユーロ	121.9円	122.3円	117.00円

■ 著名物件採用事例：国際会議場 フランス（パリ）Palais des Congrès de Paris(パレ・デ・コングレ・ド・パリ)



パレ・デ・コングレ・ド・パリはフランス全土に展開している国際会議場の一つ。国際的な会議が開催される物件に納入することで、世界にTOTOブランド認知拡大を図る。

減収減益。引き続き流通構築と著名物件採用を推進。

2017年度第2四半期決算

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響額		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	55	92	+37 (+69%)	+0	+37 (+68%)	82	+10
営業利益	2	5	+3 (2.1倍)	+0	+3 (2.1倍)	6	▲1
営業利益率	4%	5%	+1pt			7%	▲2pt

環境建材事業

単位：億円

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響額		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	43	40	▲3 (▲7%)		▲3 (▲7%)	45	▲5
営業利益	▲3	▲2	+1 (-)		+1 (-)	▲3	+1

セラミック事業が牽引し、大幅増収増益。

目次

1. 2017年度第2四半期決算

2. トピックス

3. 2017年度修正計画

トピックス

グローバル統一モデル 販売好調

NEOREST NX



デザインと機能が融合した
グローバル統一モデルとして
日本を皮切りに、全世界で発売。
素材の違うウォシュレットと衛生陶器に
おける「真の一体形」を追求。

■販売状況

日本：8月1日出荷開始。
発売後2ヶ月で計画に対し3倍の売上高。
中国：11月1日出荷開始。
今後、各国にて順次発売予定。

水栓金具



reddot award 2017
best of the best



TOTO独自の水を操る技術とデザイン性を
兼ね備えたグローバル統一モデル
の水栓金具を10シリーズ発売。
レッドドット・デザイン賞にて最高ランクの
ベスト・オブ・ザ・ベストを受賞。
(受賞対象商品：GOシリーズ 台付シングル混合栓)

■販売状況

ベトナム：4月出荷開始。高級市場の販売に寄与。
日本：5月出荷開始。
ベッセル型洗面器とのセットが好評。
中国：6月出荷開始。水栓金具の売上を牽引。

トピックス

国内ショールームのTDYコラボレーション強化

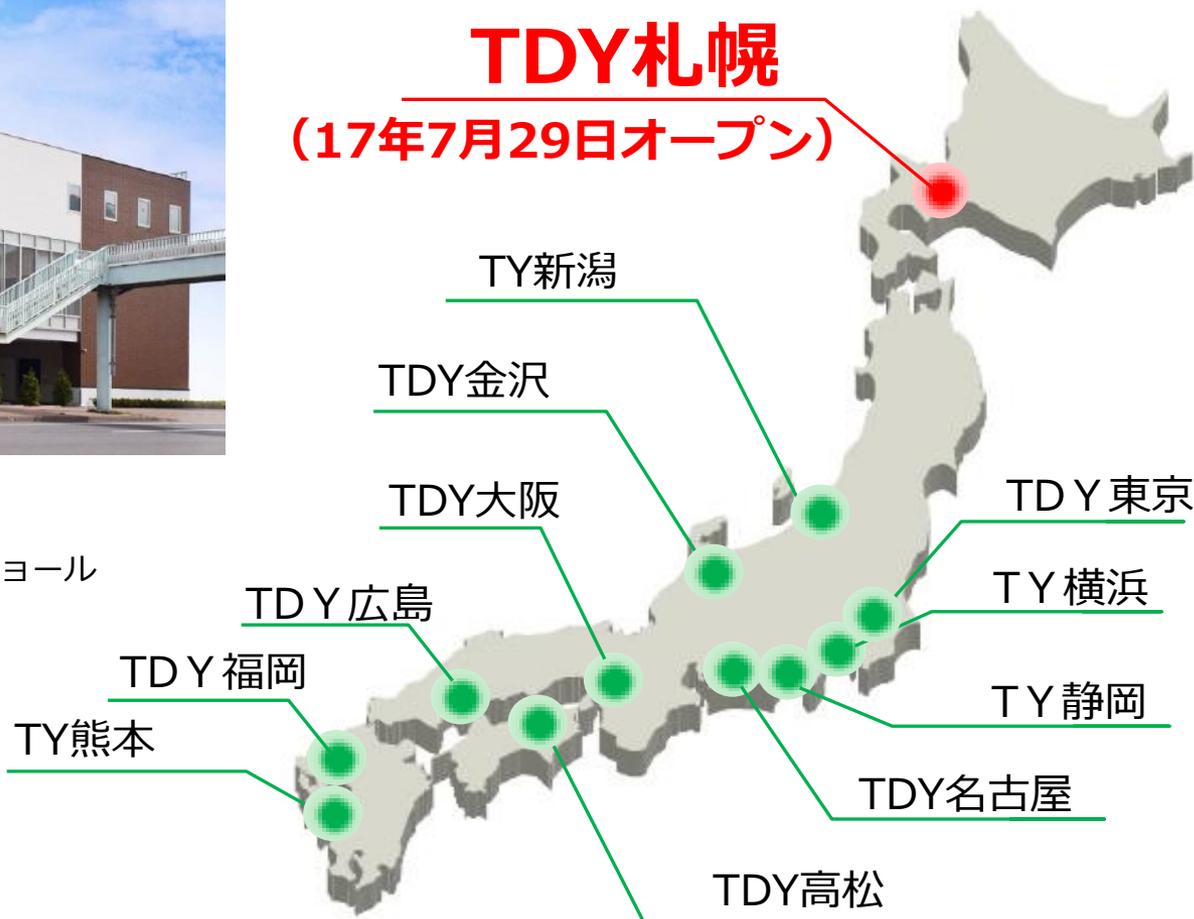


全国12ヶ所



北海道で初めてとなる
TDY札幌コラボレーションショールーム。
ロードサイド型のTDYコラボレーションショールームとしては、全国で最大の展示面積。

TDY札幌 (17年7月29日オープン)



トピックス

社外からの評価

MEMBER OF

(9月発表)

Dow Jones Sustainability Indices

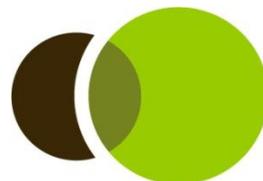
In Collaboration with RobecoSAM

「Asia Pacific」構成銘柄に9年連続で選定

(6月発表)



2017 Constituent
MSCI ESG
Leaders Indexes



ROBECOSAM
Sustainability Award
Silver Class 2017



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数



MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

CSRの取り組みが評価され、海外の社会的責任投資指標に継続選定。

スポンサー

「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」の
オフィシャルスポンサーに決定
～アジア初・日本の12都市で開催～



RUGBY
WORLD CUP™
JAPAN日本2019
OFFICIAL SPONSOR

すべての方に安全・安心・快適な水まわり空間を提供し、
大会の成功と心に残る感動を生むことに貢献。

目次

1. 2017年度第2四半期決算

2. トピックス

3. 2017年度修正計画

ハイライト

上期の進捗を踏まえ、通期計画を上方修正。

修正計画：売上高：6,000億円 営業利益540億円

売上高：60億円の上方修正（上期6億円の上振れに加え、下期54億円上方修正）

住設事業（日本）：新商品好調により、通期5億円の上方修正
（上期25億円の下振れに対し、下期は30億円の上方修正）

住設事業（海外）：為替等足下の状況を踏まえ、通期35億円の上方修正

新領域事業：セラミック好調により、通期20億円の上方修正

営業利益：30億円の上方修正（上期19億円の上振れに加え、下期11億円上方修正）

住設事業（日本）：新商品好調、通期18億円の上方修正

住設事業（海外）：為替等足下の状況を踏まえ、通期5億円の上方修正

2017年度修正計画

P/L概要

単位：億円

	2016年度	2017年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替影響額		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	5,673	6,000	+327 (+6%)	+33	+294 (+5%)	5,940	+60
営業利益 [営業利益率]	474 [8.4%]	540 [9.0%]	+66 (+14%)	+5	+61 (+13%)	510 [8.6%]	+30
経常利益	481	560	+79 (+16%)	+6	+73 (+15%)	530	+30
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	329	380	+51 (+15%)	+5	+46 (+14%)	360	+20
ROA	8.7%	9.6%	+0.9pt			9.1%	+0.5pt
ROE	11.5%	12.4%	+0.9pt			11.8%	+0.6pt

■為替レート

	2016年度		2017年度		2017年度 当初計画
	3Q実績	4Q実績	3Q実績	4Q見込	
1ドル	102.4円	109.4円	111.0円	111.0円	105.0円
1元	15.4円	16.0円	16.6円	16.9円	16.0円
1ユーロ	114.3円	117.9円	130.4円	130.4円	117.0円

上期の進捗を踏まえ、通期計画を上方修正。

2017年度修正計画

セグメント別

単位：億円

<売上高>	2016年度	2017年度 修正計画	前年差 (前年比)			当初計画	計画差
				為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
住設事業 (日本)	4,233	4,330	+97 (+2%)		+97 (+2%)	4,325	+5
住設事業 (海外)	1,222	1,375	+153 (+12%)	+30	+123 (+10%)	1,340	+35
新領域	214	292	+78 (+36%)	+4	+74 (+34%)	272	+20
その他	2	3	+1		+1	2	+1
合計	5,673	6,000	+327 (+6%)	+33	+294 (+5%)	5,940	+60

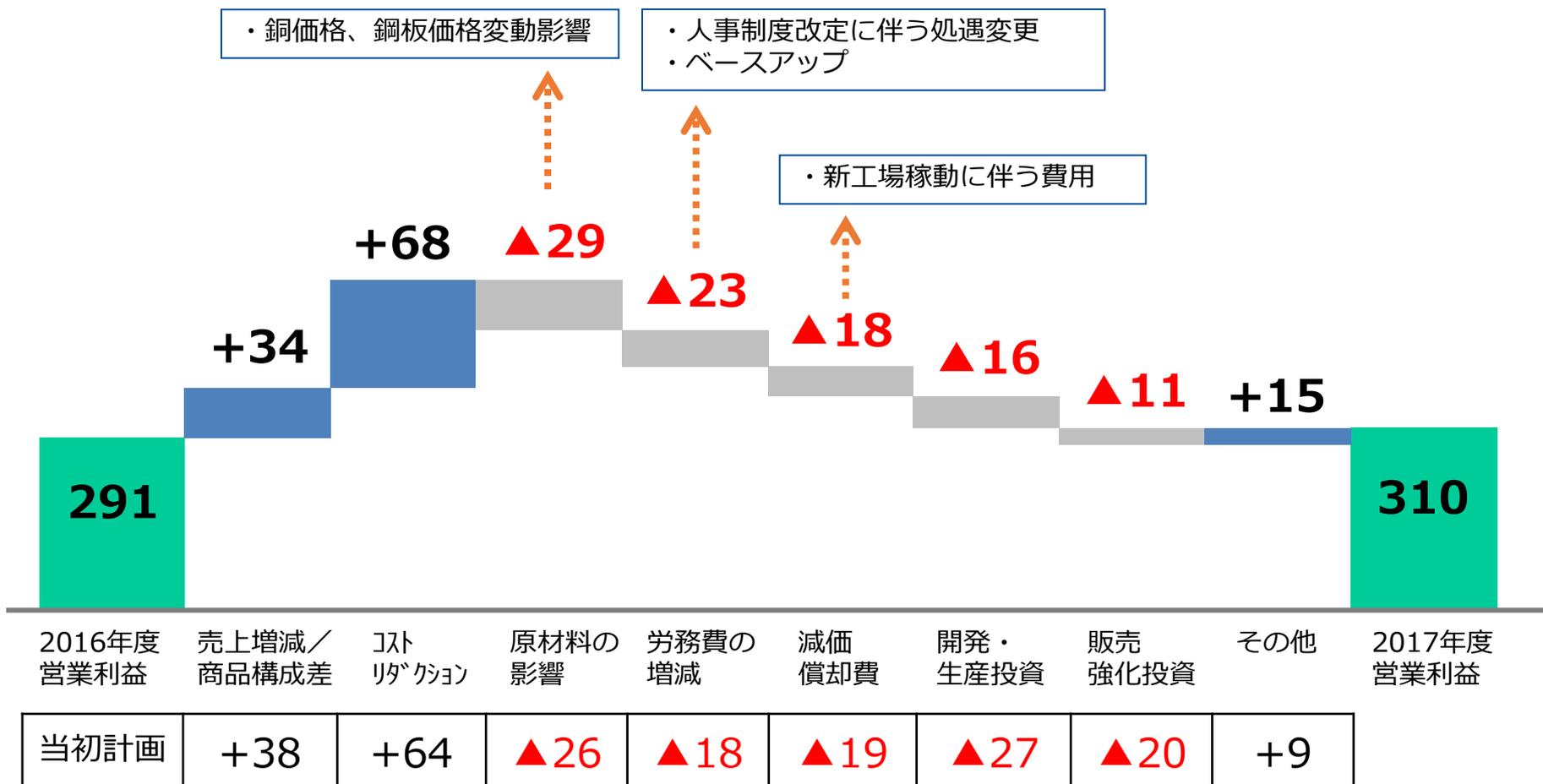
<営業利益>	2016年度	2017年度 修正計画	前年差 (前年比)			当初計画	計画差
				為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
住設事業 (日本)	291	310	+19 (+6%)		+19 (+6%)	292	+18
住設事業 (海外)	222	250	+28 (+13%)	+5	+23 (+10%)	245	+5
新領域	5	19	+14 (3.5倍)	+0	+14 (3.5倍)	19	+0
その他	▲44	▲39	+5		+5	▲45	+6
合計	474	540	+66 (+14%)	+5	+61 (+13%)	510	+30

2017年度修正計画

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因(前年差異)

単位：億円



2017年度修正計画

グローバル住設事業（日本）

単位：億円

需要別

<リモデル>

	2016年度	2017年度 修正計画	前年差（前年比）	2017年度 当初計画	計画差
売上高	2,835	2,925	+90（+3%）	2,905	+20
営業利益	242	260	+18（+7%）	243	+17
営業利益率	9%	9%	+0pt	8%	+1pt

<新築>

	2016年度	2017年度 修正計画	前年差（前年比）	2017年度 当初計画	計画差
売上高	1,397	1,405	+8（+0%）	1,419	▲14
営業利益	49	50	+1（+1%）	49	+1
営業利益率	4%	4%	+0pt	4%	+0pt

新商品好調により、リモデルを上方修正。新築は下方修正。

2017年度修正計画

グローバル住設事業（日本）

単位：億円

商品別実績

	売上高			営業利益		
	2016年度	2017年度 修正計画	前年差 (前年比)	2016年度	2017年度 修正計画	前年差 (前年比)
衛生陶器	863	906	+43 (+5%)	82	90	+8 (+9%)
ウォシュレット	931	963	+32 (+3%)	129	143	+14 (+11%)
水栓機器	932	945	+13 (+1%)	76	72	▲4 (▲5%)
浴室	960	972	+12 (+1%)	32	24	▲8 (▲25%)
キッチン・洗面	454	455	+1 (+0%)	▲24	▲15	+9 (-)
その他	90	87	▲3 (▲4%)	▲5	▲5	+0 (-)
合計	4,233	4,330	+97 (+2%)	291	310	+19 (+6%)

衛生陶器・ウォシュレットを上方修正。

2017年度修正計画

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2016年度	2017年度 修正計画	前年差（前年比）	為替影響除 前年差（前年比）	当初計画	計画差
中国	613	715	+102（+16%）	+90（+15%）	690	+25
アジア	286	317	+31（+11%）	+22（+7%）	318	▲1
米州	284	307	+23（+8%）	+15（+5%）	298	+9
欧州	37	36	▲1（▲3%）	▲2（▲7%）	35	+1
合計	1,222	1,375	+153（+12%）	+123（+10%）	1,340	+35

営業利益	2016年度	2017年度 修正計画	前年差（前年比）	為替影響除 前年差（前年比）	当初計画	計画差
中国	152	181	+29（+19%）	+26（+17%）	170	+11
アジア	55	62	+7（+12%）	+5（+8%）	59	+3
米州	22	20	▲2（▲10%）	▲3（▲12%）	24	▲4
欧州	▲8	▲13	▲5（-）	▲4（-）	▲9	▲4
合計	222	250	+28（+13%）	+23（+10%）	245	+5

為替レートの見直し等により、上方修正。

2017年度修正計画

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2016年度	2017年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替影響額		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	125	202	+77 (+62%)	+3	+74 (+59%)	173	+29
営業利益	12	23	+11 (+84%)	+0	+11 (+83%)	21	+2
営業利益率	10%	11%	+1pt			12%	▲1pt

環境建材事業

単位：億円

	2016年度	2017年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替影響額		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	89	90	+1 (+0%)		+1 (+0%)	98	▲8
営業利益	▲6	▲4	+2 (-)		+2 (-)	▲2	▲2

好調なセラミック事業を上方修正。

配当

中間配当：対前年 2円の増配
対当初計画 1円の増配
年間配当：対前年 4円の増配を計画
対当初計画 2円の増配を計画

	2016年度	2017年度	当初計画
中間	34.0円	36.0円	35.0円
期末	34.0円	36.0円	35.0円
年間計	68.0円	72.0円	70.0円
配当性向	34.9%	32.1%	32.9%

このプレゼンテーション資料は、2017年10月30日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO